

2010年9月6日

会員各位

社団法人 日本産科婦人科学会
理事長 吉村 泰典
社団法人 日本産婦人科医会
会長 寺尾 俊彦
ガイドライン産科編委員会
委員長 水上 尚典

「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2011」で修正される
CQ&A (案) 50項目についてご意見募集のお知らせ

「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2008」は改訂が行われ、2011年4月には「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2011」が発刊されます。2011年版では2008年版63項目中50項目のCQ&Aについてやや大幅な修正が予定されております。これら50項目案については既に産婦人科診療ガイドライン産科編評価委員会、コンセンサスマーケティング等のご意見に基づき改訂されておりますが、さらに改訂を進めたいと考えており、会員諸氏からの建設的ご意見を頂戴したいと考えております。つきましてはご協力のほど、お願い申し上げます。

募集期間：2010年9月6日～同年12月15日まで

ご意見はCQ番号ならびに連絡先明記（e-mailもしくはFax）のうえ、以下までお願い致します。

e-mail: nissanfu@jsog.or.jp

Fax: 03-5842-5470

会員各位

産婦人科診療ガイドライン
ー産科編 2011 作成委員会
委員長 水上 尚典

日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会の共同事業として「産婦人科診療ガイドラインー産科編 2011」の作成が進められており、2011年4月刊行が予定されています。2011年版では「産婦人科診療ガイドラインー産科編 2008」中の63項目のCQ&Aの見直しを行うとともに新たな24項目のCQ&Aを追加致しました。見直しを行った63項目のうち大幅な修正を要する50項目（修正部分に下線を付してあります）についてこの度、日本産科婦人科学会雑誌11月号に掲載し、会員の皆様方からのご意見を頂くことになりました。つきましては今回示されるCQ&A案に関してご意見がある場合には2010年12月15日までに所定の用紙をコピーして使用し、産婦人科診療ガイドライン係（Fax:03-5842-5470）までFax、あるいはe-mail(nissanfu@jsog.or.jp)して下さいようお願い致します。なお、2008年版冒頭（Vi～IX頁）にある「本書を利用するにあたって」については大きな変更はありません。

本案は「2010年9月版（案）」であり、今後発刊までに加筆修正される可能性があります。

本案（2010年9月版）作成までの経緯

1) 「産婦人科診療ガイドラインー産科編 2008」発刊（2008年4月）は3年後の改訂を約束してのものであった。2008年5月に2名の作成委員が新たに加わり（伊東宏晃氏、佐藤昌司氏）（総勢26名）、2011年版発刊のための準備が始まった。2010年2月までに旧63項目のCQ&Aを改訂するとともに、新たに追加する新CQ&A24項目案をまとめ、ガイドライン評価委員会（委員長、斉藤 滋氏）の評価を受けた。川端委員ならびに吉川委員が作成委員会・評価委員会連絡調整役となった。評価委員会の意見を受けて、これら2011年版用CQ&A計87項目は度々改訂された。

2) これら改訂案の一部と先月号に掲載された新CQ&A案24項目は第1回コンセンサスマーティング（2010年4月24日、東京フォーラム、午後3時30分～午後6時30分、268名参加）、第2回（2010年6月13日、日本都市センター、午後1時30分～午後4時30分、169名参加）、ならびに第3回（2010年7月12日、神戸国際会議場、午後4時～午後6時40分、125名参加）コンセンサスマーティングで検討された。円滑なマーティングのために、予め学会と医会のホームページに第1回用資料として2010年4月5日に新CQ&A案12項目、第2回コンセンサスマーティング用資料として5月24日に新CQ&A案10項目、旧CQ&A改訂案1項目（CQ311 常位胎盤早期剥離）、第3回コンセンサスマーティング用資料として6月28日に、新CQ&A案2項目（喫煙、DM管理）、旧CQ&A案11項目を掲載した。これらでの議を経て、ガイドライン作成委員会は2010年9月版（案）を作成した。